

# KSP DEEPTECH STUDIO

## 第5期 事業化検討プロジェクト

2026年6月1日～8月31日



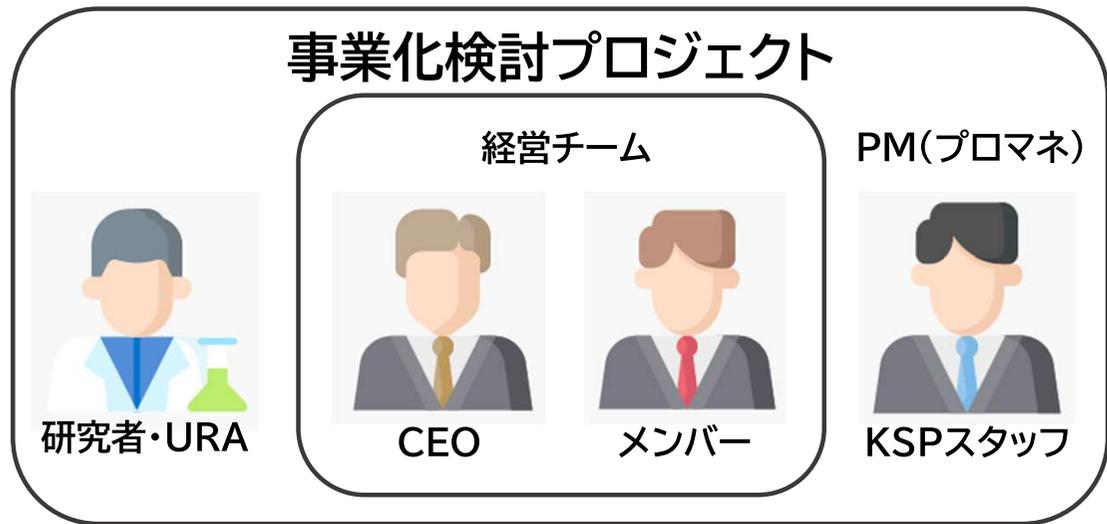
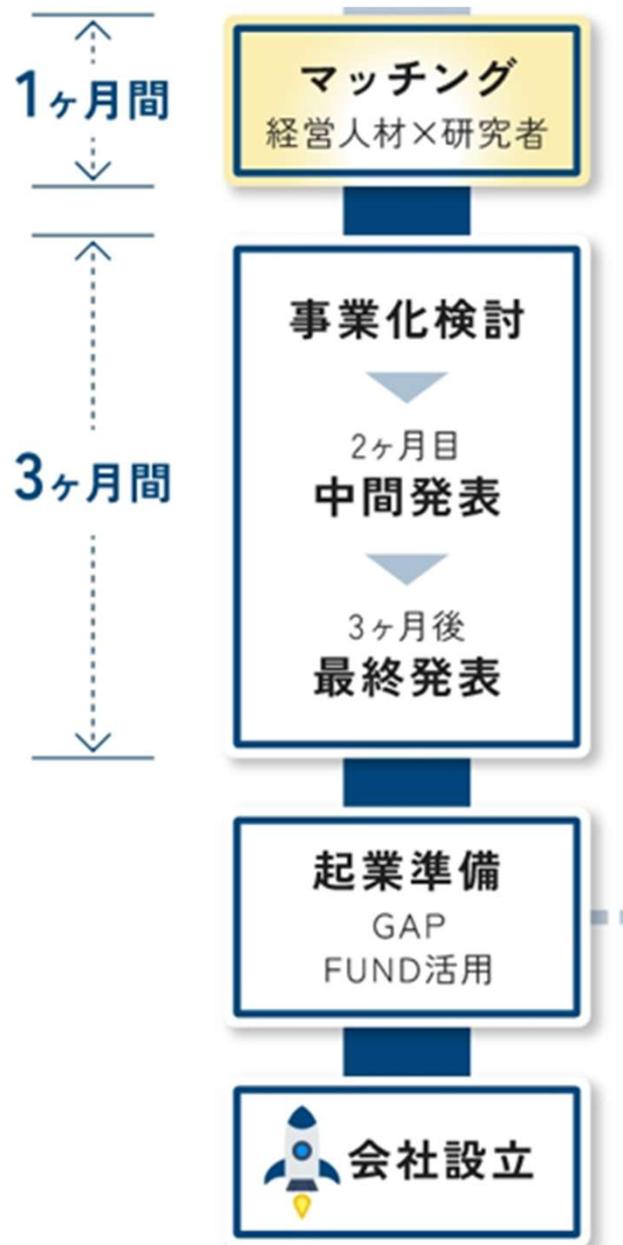
株式会社 ケイエスピー

# KSPのサポートを受けて、研究成果の社会実装・起業の検討をしませんか

- 現在、大学からの起業を後押しする事業が増えており、今まではほんの一部の研究者が興味を持っていた社会実装や起業という取組に、多くの研究者が興味を持ち始めています。
- それに伴い、研究者の起業を支援する人材も求められていますが、どこの大学でも人材が不足しており手が回っていないというのが実情と思います。
- 本事業は副業の経営人材とチームを組成し、期間限定で事業化検討を行うプログラムです。
- 研究者が経営人材と一緒に3ヶ月の事業化検討プロジェクトを実施することで、研究者の社会実装スキルが飛躍的に向上することが既に実証されています。
- 社会実装・起業に興味を持つ大学関係者の皆様は、ぜひ本事業にご参加頂ければと思います。



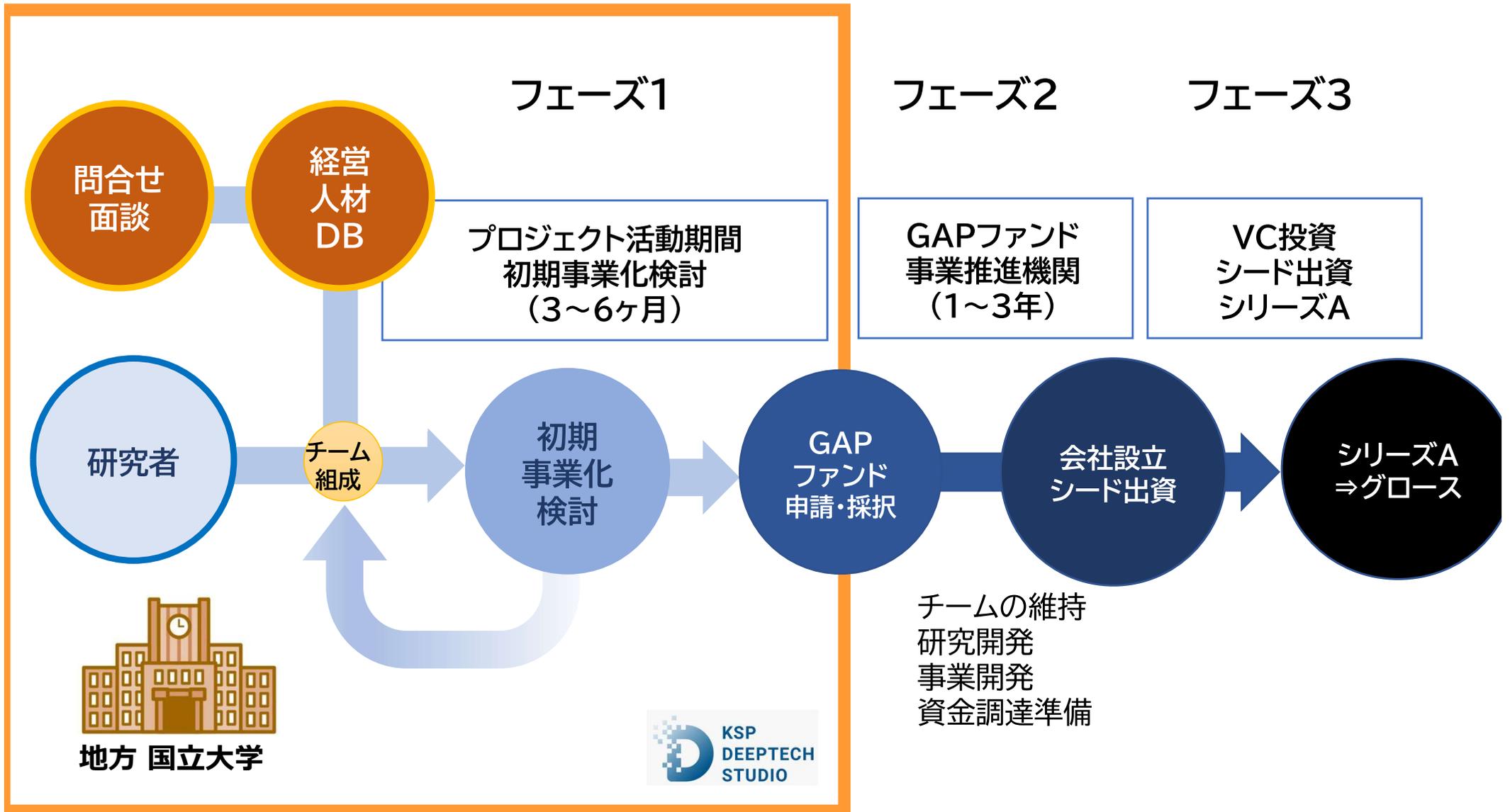
# 事業化検討からスタートアップ設立までの流れ



- 事業化検討プロジェクトでは、用途仮説が定まっていなかった研究シーズの事業化を検討することからスタートし、想定される用途、顧客を見つけ出し、実際に想定顧客にインタビューを行っていくことで実用化の障壁となるポイントを明確にしていきます。
- 3ヶ月後にすぐ起業できることはまれで、事業化のためのGAPファンドを獲得し、顧客がPoC可能なレベルまで研究を加速することが必要となるケースが多いです。

# 事業化検討からスタートアップ設立までの流れ

経営チーム組成、事業化検討、GAPファンド獲得、起業準備、資金調達までをシームレスに支援



# フェーズ1→2進んだプロジェクト



第1期修了(2024/4-6)

東京科学大学 生命理工学院 教授 上野 隆史 & 経営人材 2名

「革新的な酵素ソリューションを生み出すタンパク質結晶材料事業」

GTIE GAPファンド エントリー採択(500万円)

海外市場開拓コース 採択(1年間 2800万円) 起業準備中



第2期修了(2024/11-2025/1)

埼玉大学 大学院 理工学研究科 准教授 塩田 達俊 & 経営人材 4名

「産業と医療へ展開する高速・非接触光3次元形状検査装置の開発と事業化」

IJIE GAPファンド ステップ2 採択(3年間 6000万円) 起業準備中



第2期修了(2024/11-2025/1)

信州大学 先鋭材料研究所 助教 大塚 隼人 & 経営人材 3名

「高速気体分離膜を用いた革新的酸素富化技術の実現」

IJIE GAPファンド ステップ2 採択(2年間 3000万円) 起業準備中



香川大学 医学部 准教授 鈴木辰吾 & 経営人材 1名

「抗体医薬の迅速・高効率生産法の事業化」

PSI GAPファンド ステップ2 採択(3年間 6000万円) 起業準備中

# フェーズ1→2進んだプロジェクト



第1期修了(2024/4-6)

東京科学大学 化学生命科学研究所 助教 本田 雄士 & 経営人材 3名

「新規薬物送達法(ドラッグデリバリーシステム)を用いたバイオ医薬品の開発」

GTIE GAPファンド エントリー採択(500万円)



第2期修了(2024/11-2025/1)

信州大学 工学部物質化学科 教授 酒井俊郎 & 経営人材 4名

「革新的な酵素ソリューションを生み出すタンパク質結晶材料事業」

IJIE GAPファンド ステップ1 採択(500万円)



第2期修了(2024/11-2025/1)

福井大学 学術研究院工学系部門 教授 藤田聡 & 経営人材 2名

「エレクトロスピンニング法で吹き付けるハイドロゲルナノ繊維癒着防止材」

TeSH GAPファンド ステップ1 採択(500万円)



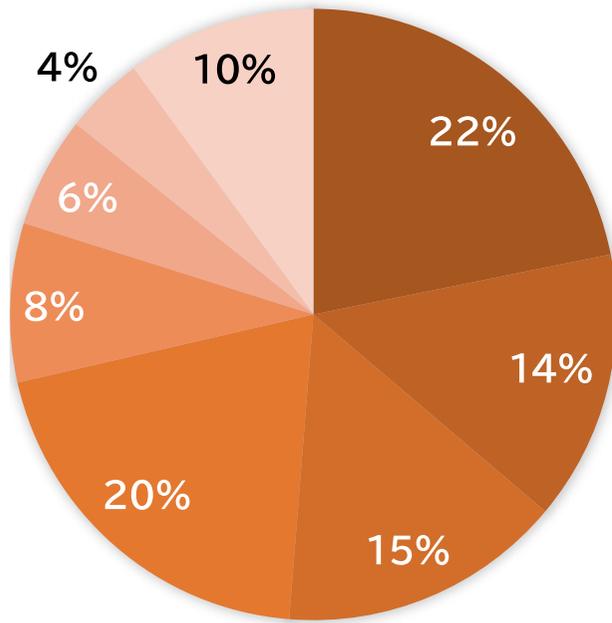
第2期修了(2024/11-2025/1)

東京科学大学 総合研究院 助教 山田 哲也 & 経営人材 3名

「自立分散型エネルギー社会構築に向けた超小型固体酸化物形燃料電池の事業化」

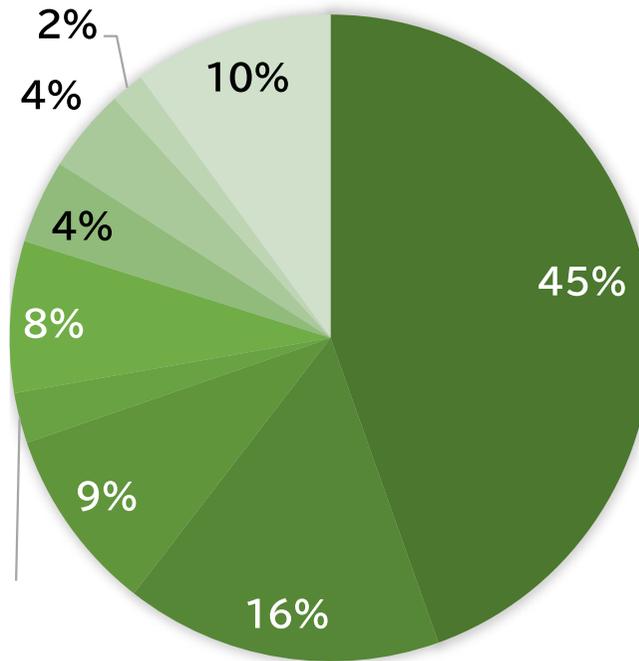
GTIE GAPファンド エントリー採択(500万円)

# 経営人材のプロフィール



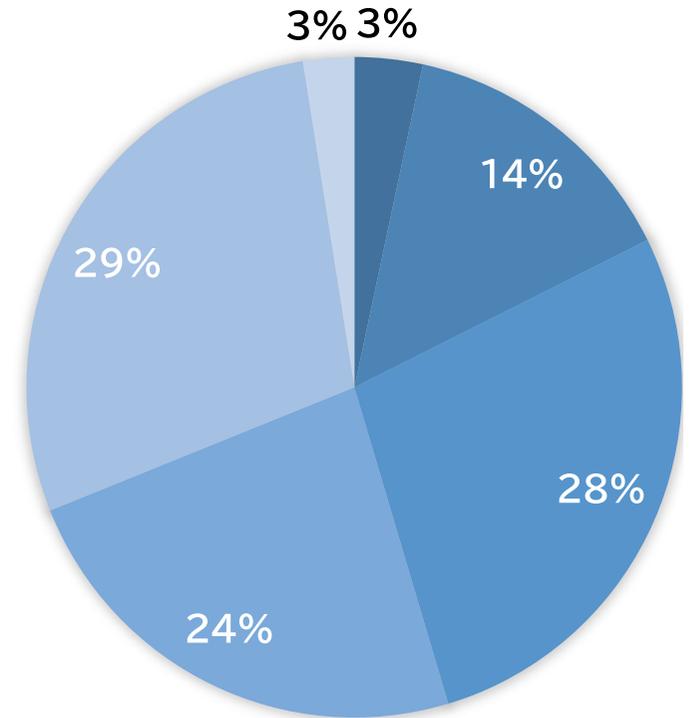
- ライフ・メディカル
- 情報通信
- 化学・食品・化粧品
- 電機・機械

- 金融
- 研究機関
- 専門職
- その他



- R&D・事業開発

- CFO・財務
- コンサルタント
- 技術営業
- 経営者
- 弁護士・弁理士・知財
- 投資・M&A
- 会計士・税理士
- その他



- 20代
- 30代

- 40代
- 50代

- 60代
- 70代

**7割が大手製造業  
半数が理工系出身で新事業経験  
4～50代でマネジメント経験**

# 支援した研究者の所属大学

- 北海道大学、北海道医療大学
- 岩手大学
- 長岡技術科学大学、福島県立医科大学
- 信州大学、群馬大学、埼玉大学、山梨大学
- 東京大学、東京科学大学
- 芝浦工業大学、日本大学
- 横浜国立大学、お茶の水女子大学
- 東海大学、日本大学、麻布大学
- 情報通信研究機構(NICT)
- 豊橋技術科学大学
- 京都産業大学、奈良県立医科大学
- 福井大学、金沢大学
- 岡山大学、神戸大学
- 九州工業大学、久留米大学
- 福岡工業大学
- 沖縄科学技術大学院大学



**44名の研究者を支援**

# 第1期 事業化検討PJ 2024/4-6

1	北海道大学	大学院 地球環境科学研究院	教授	小野田晃
2	長岡技術科学大学	物質生物工学分野	助教	小松啓志
3	福島県立医科大学	医学部 疼痛医学講座	特任助教	松平浩
4	情報通信研究機構	未来ICT研究所		Peper Ferdinand
5	東京大学	大学院 総合文化研究科	教授	佐藤守俊
6	東京科学大学	生命理工学院	教授	上野隆史
7	横浜国立大学	先端科学高等研究院	准教授	下谷有希
8	東海大学	理学部物理学科	教授	喜多 理王
9	日本大学	医学部 細胞再生・移植医学分野	教授	松本太郎
10	九州工業大学	大学院 情報工学研究院	教授	斎藤剛史
11	東京科学大学	化学生命科学研究所	助教	本田雄士
12	沖縄科学技術大学院大学		准教授	Emile Touber

## ■GAPファンド申請 6プロジェクト

GTIE エントリー 2件採択  
 GTIE 海外市場開拓 1件採択

エントリーした研究者	16名
成立したPJ	14PJ
途中終了したPJ	2PJ
参加した経営人材	43名

# 第2期 事業化検討PJ 2024/11-2025/1

1	横浜国立大学	理工学部 数物・電子情報系学科	准教授	大矢 剛嗣
2	東京科学大学	未来産業技術研究所	助教	山田哲也
3	麻布大学	生命・環境科学部	特任助教	中舘美佐子
4	お茶の水女子大学	コンピテンシー育成開発研究所	教授	山田美穂
5	日本大学	医学部 機能形態学	助教	加藤侑希
6	埼玉大学	大学院理工学研究科	准教授	塩田達俊
7	北海道医療大学	歯学部 薬理学分野	教授	谷村明彦
8	九州工業大学	情報工学研究院	教授	中荃隆
9	信州大学	工学部 物質化学科	教授	酒井俊郎
10	群馬大学	大学院理工学府 電子情報部門	教授	三輪空司
11	福井大学	工学部 工学研究科	教授	藤田聡
12	信州大学	先端材料研究所	助教	大塚隼人

## ■GAPファンド申請 8プロジェクト

IJIE ステップ1 1件採択  
 IJIE ステップ2 2件採択  
 TeSH ステップ1 1件採択  
 GTIE エントリー 1件採択

エントリーした研究者	16名
成立したPJ	13PJ
途中終了したPJ	1PJ
参加した経営人材	40名

# 第3期 事業化検討PJ 2025/7-9

1	横浜国立大学	大学院工学研究院	准教授	太田 裕貴
2	日本大学	生産工学部	教授	村田 康一
3	豊橋技術科学大学	コンピテンシー育成開発研究所	教授	柴田 隆行
4	福岡工業大学	工学部 電子情報工学科	教授	盧 存偉
5	福岡工業大学	総合研究機構	教授	森山 聡之
6	芝浦工業大学	工学部	教授	吉田 慎哉
7	芝浦工業大学	工学部	教授	二井 信行
8	岩手大学	理工学部	助教	西川 尚宏
9	北海道大学	大学院 地球環境科学研究院	教授	小野田 晃
10	東京科学大学	工学院機械系	教授	齊藤 滋規
11	山梨大学	大学院総合研究部	准教授	井上 久美
12	東京科学大学	未来産業技術研究所	助教	山田 哲也
13	東京科学大学	生命理工学院	教授	黒田 公美

■GAPファンド申請 8プロジェクト  
 PARKS ステップ1 1件採択  
 HSFC ステップ1 2件採択  
 GTIE エントリー 2件採択

エントリーした研究者	15名
成立したPJ	13PJ
参加した経営人材	31名

# 第4期 事業化検討PJ 2025/12-2026/2

1	北陸先端科学技術大学院大学	先端科学技術研究科	教授	栗澤 元一
2	信州大学	医学部 循環病態学教室	教授	新藤 隆行
3	群馬大学	大学院 医学系研究科	教授	谷口 公介
4	信州大学	理学部 理学科	教授	朴 虎東
5	山梨大学	大学院総合研究部 工学域	准教授	井上 久美
6	山梨大学	大学院総合研究部	教授	二宮 啓

## ■GAPファンド申請 6プロジェクト

エントリーした研究者	6名
成立したPJ	6PJ
参加した経営人材	13名

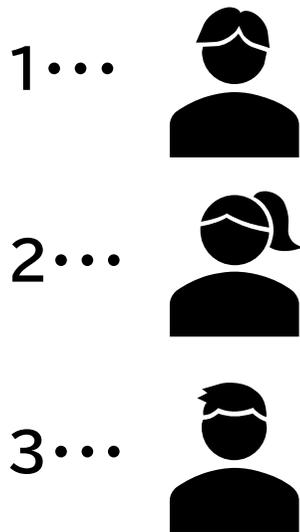


# 経営人材と研究者のマッチング方法

以下のステップで事業化検討プロジェクトを組成します。

## ①一次エントリー・面談

経営人材が興味のある研究者を3名選んでエントリーします。研究者毎にオンラインでのグループ面談を実施。技術の詳細理解と用途に関するブレストを行います。



## ②最終エントリー・人選

グループ面談を経て、協働したい研究者2名にエントリー。エントリーのあった経営人材から2~3名をKSPと相談の上、メンバーとして人選



## ③プロジェクトのキックオフ

経営チーム、メンターと共にプロジェクトをキックオフ。初回は大学を訪問し、ラボ見学などを行います。



# 第5期 スケジュール(マッチング)

▼5/1~9

1次エントリー

サイト上から研究概要を閲覧の上、興味のある研究者3名を投票

▼5/10~5/24

マッチング面談

研究者と経営人材とのオンライン面談。18:30-20:30に実施。  
研究内容の詳細説明とQ&A、事業アイデアのブレストを予定

▼5/17~5/25

最終エントリー

面談結果を参考に、希望するプロジェクトを2つ投票

▼5/25~5/31

メンバー選定

研究者・KSPとで2~3名のメンバーを決定

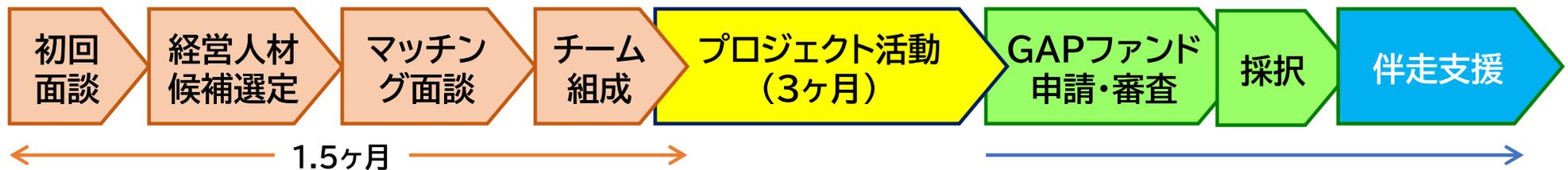
# 第5期事業化検討プロジェクト参加にあたり

研究者・URA、経営チーム、KSPスタッフがチームを組んで事業化シナリオを作成。  
GAPファンド申請の際は、事業化推進機関として継続的にサポートします

## <支援内容>

- 研究テーマに興味をもつ経営人材をご紹介し、経営チーム組成します。
- チームでの3ヶ月間の事業化検証とプロジェクト運営サポート
- GAPファンド申請の際は、KSPが事業化支援機関として申請書のブラッシュアップを共同で実施
- 採択された場合はチームを維持しながら、起業への準備を加速。更なる大型ファンドへの申請、起業後の出資も視野に入れて活動を行います。

## <活動イメージ>



<参加費> 110万円(税込)

# 最後に

- GAP FUND採択やスタートアップ起業は目的ではなく、あくまでも手段
- 本プログラムの目的は、**研究成果を起点とした事業構想を描き、事業として継続できる道筋を示すこと**
- 短期間で急成長するスタートアップも、VCからの資金調達も、日本社会の中では少数派であり、いたずらに事業規模の拡大を企図するのは社会実装の本質ではない

# お問い合わせ、申込先

研究成果の社会実装や大学発スタートアップを目指す研究者、  
大学関係者の方々を広く募集しています。

[https://kspdeep.tech/acad\\_entry/](https://kspdeep.tech/acad_entry/)



株式会社ケイエスピー インキュベート投資事業部  
スタジオ事業担当 info@kspdeep.tech